

いのちの輝き ～「信じること」への伸び代を感じた半年間～

2023.10.31 C.N

私がこちらの受講を決めたきっかけは

- ・類似したタイプの違いを明確に理解したい
- ・本能のバリエーションを学びたい
- ・エニアグラムの歴史的背景も知りたい

それらが主な動機となり受講いたしました。

お恥ずかしい話、私はエニアグラムを他所で学び、
自分がまるで全知全能に近づいたような錯覚を持ち
セッションという形でクライアント様のお悩みへアドバイスを重ねていました。

そしてある日気づくのです。

「あれ？無限の可能性を伝えているつもりが、逆にクライアント様の可能性を狭めてやしないだろうか？」と。

とてもショックでとても衝撃的でした。

自分の持てる全てで、ずっと「貢献」しているつもりでしたから。

アソシエイトで学び直し、後に言語化出来るようになった今では、
それこそが「類型化」してしまっていた、という出来事だったんだなあと
振り返っております。

この半年間、自分のメインタイプを観察し探求する日々を重ね、
特に大きな気づきが二つあります。

まず私が「無責任な人へイライラしやすい」理由の一つとして
私が【執着】しやすいことに対し、その一見無責任に見える方々の
裏にある【無執着さ】への憧れがあったこと、

また「導きを探し求める」私の性質に

【父親像への執着】も関与しているという二点に日々日々理解が深まり
実感が湧いてきています。（私にとっての、父親像＝自立）

自立したいようになしたくないような。。という自覚はあったものの、
「そういうタイプだ」と認識していたものからもう一段階、
本質への深層に踏み込めたような感覚です。

エニアグラムを学ぶ利点として、

【自身のタイプの本質へ繋がること】は

その奥底にある本質こそが『本来備わっている、恵まれている自身の賜物だ』と
自認できることではなかろうか、と考えるようになりました。

それこそが個々人の持ち合わせた、持って生まれた『いのちの輝き』なのでは
ないでしょうか。

学べば学ぶほど、輝く美しいものがほの見える気がするのです。

さらに私が今後、エニアグラムの智慧を活かしていく方向性として

私自身が子育て真っ最中であるからこそ、

「仕事と育児を両立させたい」

「子供にこうしてあげたい、なのに出来ずに葛藤して辛い」という女性へ向け、
自分自身の囚われを解放していくことで、公私共に全てのこだわりが解けていくよ
うな、この楽に生きられる感覚を伝えていきたいと切に願っております。

さて、タイトルにある「信じることへの伸び代」とは。

私は日々、周囲の人へ"お節介"が発動してしまうことが有ります。

自分の子供が傷つかないように前もって対策をしたくなってしまったり、

知人同士がプラスになるご縁だ！と感じると、ご縁を繋げたくなくなってしまったり。

しかし、それって「本人が成長するチャンスを奪ってしまっているかもしれない」
そう感じられるようになり、見守ることへの修業を重ねたり時に失敗したりしてい
ましたが、

その私の行動の根底にも【相手を信じきれていなかったんだなぁ】という想いがあ
ると気がつけたのです。

なので、現在は【信じて】【見守る】

相手を信じ、自分を信じ、見えざる力まで信じられるようになる。

そんな伸び代を体感し始めたことで「行動」という実践に移せるようになってきたことが、

心配性で慎重な私にとっては大きな成長となる学びの時間となりました。

センターの偏りへの意識もずっと生きた学びとなっています。

一人で本と向き合っても出来ない学び、

人としての成長を、こちらでご縁あった皆様とこれからも深めていけたらと期待します。

貴重で、深く尊い学びのお時間を共有頂き、誠にありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。